

- 1ページ 絵葉書一元サマナ、男性 筆画
- 2ページ カッピナさんーオウムサイトから
- 3ページ 「死屍累々」ー報道の紹介とコメント
- 5ページ おいおい その3ー故事成語からーカルマの法則外
- 5ページ 不審な死者が続くー週刊新潮記事から
- 6ページ 練炭ー死ぬなら明日、また明日…、とりあえず今日は…
- 7ページ 歌詞 『 今日までそして明日から 』
- 8ページ 窓口コメント「長官銃撃事件について」



人間の眼界を
超えた聖者たち



クンタリニー・ヨーガの解脱者



カッピナ師

自在
停止
聖者



緊張の一瞬

(過去)の聖者のサマディ (1) (2) (3) (4)
1 2 3



「あ、止まった！」——。じっと耳
ましてみたが、やはり音は聞こえな
その瞬間、確かに心臓の鼓動が
のだ。興奮のあまり、聴診器を持
が少し震える。

この日、カッピナ師は、数十人の
者の前で、意図的に心臓を止める
ンストレーションを行なった。

上半身裸になったカッピナ師の心臓の位置に聴診器を当てて鼓動を聞
みる。

ドクン、ドクン、ドクン……。

その出家者がしっかりとした脈拍を確認したかと思うと、カッピナ師は
もむろに激しい呼吸を何度か繰り返した。そして、トライバンダというヨ
の技法を行ないながら渾身の力を込めて保息を行なう。その数秒後..
ドクン、ドクン、ドクッ、——。

死 屍 累 々

新聞報道から

死屍累々です。まさに。
教祖はのうのうと生きているものを。

>「温熱療法」中に死亡か

- >徳島市職員のオウム信者 2004年9月
- >在家信者で徳島市職員の男性(35)
- >8月、市内の自宅浴室で意識障害を
- >その後死亡したことが29日、徳島県警や公安当局の調べで分かった。
- >公安当局は50度近い湯に繰り返し入る「温熱療法」中の事故
- >家族が8月29日午後5時半ごろ、男性が浴室で倒れているのを見つけ、
- >119番 入院したが、9月4日に死亡
- >高温の湯に入ったことによるやけどが胸に、-事件を疑う状況もない
- >家族は「男性は47度か48度の風呂に毎日入っていた」と話している
- >公安当局は1997年ごろには男性の入信を確認。市内の関連施設に出入り

温熱修行は危ないので1人でしないように、とオウム当時でさえ1994年だったか通達が
出ていた。 中毒みたいなものなのだろうが、やめとこうよ。

>? オウム元信者変死 教団から分派 体をたたかれた跡

- ・ 東京都練馬区のアパート
- ・ 2004年9月 中旬
- ・ オウム真理教の元信者で、現在は教団から分派した
- ・ 麻原彰晃被告(四九)=本名・松本智津夫=を信奉する団体に所属している女性(三六)
が変死していたことが二十三日、分かった。
- ・ 女性の体にはたたかれたような跡
- ・ 十一日午後一時ごろ、団体が修行などに使っている練馬区内のアパートで、女性が冷た
くなって倒れているのを知人の女性が発見、一一九番通報したがすでに死亡
- ・ 女性が所属している団体は、麻原被告が唯一の帰依対象であるとし、麻原被告の子供を
教祖にしようとした教団の方針に反発した信者らが教団を離れて、設立した。約三十人が所
属し、通称「ケロヨンクラブ」

うーん「オウム真理教の元信者で、現在は教団から分派した」の表現は間違い。麻原さん
を信奉している限りオウム真理教であり「元信者」と表現されると困る、と。

1995.3.22以降の死亡者について、まとめておく必要がありますね。

- ・ 麻原さんの子供らと泳いでいて溺死した人
- ・ 教団の車を運転していた事故で死亡した人
- ・ 石油をかぶって死んだ人
- ・ 温熱修行中に死亡した人
- ・ 自殺した複数の人

悲劇はまだまだ続いている。なんとっ。

そりゃ、1995年3月22日以降も、竹刀で足をやたらたたいたり、ゴムタクで蓮華座を長時間させたり(腎不全で危なかった人もいた)のことがあった。が、今回、オウム関係の死亡事件としては珍しい類型

日本では昔からある類型、つまり暴行をして「カルマを落とせ」修行といった叩きあい殺し事件、になったのだろうか。遺体はすでに骨になっており、事件として立件されるかは不明。

故 カッピナさん

ちなみに、別の事件で亡くなったカッピナさんが、いまだアーレフのサイトに出ているのが不思議。オウム側もちろん知っているのだが。

亡くなった人も、現在の「師」として紹介するのがオウム真理教

<http://www.aleph.to/saint/100/07-kp1-1.html>

カッピナ師は、2003年末か今年1月だったか、富士山五合目まで自動車で行き、不明。関係者は事情を説明し、警察は大規模な搜索もしたが、当時は見つからず。5月に発見された。

ストイックな修行の好きだった人とのこと。「心臓を自在に停止させる聖者」とされていたが、完全に止まったのだろう、遺体で発見されたとのこと。カッピナさんも、人は人。

なんと。

おいおい その3-デイリーアレフより-

Sent: Thursday, October 14, 2004 12:00 PM

Subject: 【Daily Aleph】04/10/14_1428

- > § 故事成語に学ぶ §
- > 『毛を吹いて疵（きず）を求む〈韓非子〉』
- > 人の欠点を探して非難し、逆にそれによって自分が非難されるの意。
- > カルマの法則どおりで、非難すればやがて非難されます。
- > とはいえ、親友の過ちに対しては、非難でなく愛のこもった忠告をしたいもの
- > ですね。

おいおい、1990年、サンデー毎日の編集長の脳出血の後遺症について「悪行をなしたことのカルマだ」とか、1995年窓口淹本太郎について「地獄に落ちる」とか、保護された女性について「問題が多かった」とか、本その他で非難を重ねていたのはどこの誰だったのかいな。

欠点どころか犯罪を重ねれば非難されるのであって、カルマの法則なぞというものを持ち出すまでもない。んで、「親友の過ち」って誰のことかいな。

TOWN ENTERTAINMENT BOOKS PASTIME SCIENCE ARTS SCREEN TELEVISION SPORTS BUSINESS LOBBY



次なる指導者は……

9月30日付の各紙で報じられたオウム信者の死。何でも50度近い熱湯風呂に繰り返し入る「温熱療法」なる修行を自宅で行っていた。死んでしまったという。加えてその前の週には、ケロヨングループというオウムの分派組織内で、36歳の女性信者が「カルマ落し」と称して、信者仲間から竹刀で叩かれて死んだことも明らかになっている。

不審な死者が続く 「オウム」増殖

麻原逮捕からはや9年。オウムの内部で何が起きているのか。

公安関係者が言う。

「二期は出所した上祐が、イニシアチブを握っている。したが、一昨年頃から失脚したという情報が流れ、その後は古参の幹部信者の合議制で運営されていた。ただ、その核となっていた信者も今年7月にニセ薬を売っていたことで逮捕され、事実上、指導者不在です。」

おまけに一連のオウム事件の被害者に対しての賠償もあつて金銭的にも厳しく、一部にはトンネル会社を作つてまで収入を隠しているという情報もある。

ケロヨングループの台頭もその現れだという。

「ケロヨン」は教団がアレフに名前を変え、形式上、麻原を排除した頃に飛び出た一派で、いわゆる麻原原理主義者。当初は10人ほどの

集まりだったが、最近はお心力のない今のオウムから抜け出した連中が集まり、50人を確認するほどに成長している。ここでは今回死している者が、昔ながらの修行をやっている。

また、オウム被害対策弁護団の淹本太郎弁護士はこ

んな指摘をする。

「温熱療法は麻原時代にすでに危険なため一人でやってはいけない修行とされてはいる。やはり指導が行き渡っていないでしょう。昨年の冬にはある信者が修行といつて一人で勝手に富士山に登って遭難死しているし、横浜では最近、一人で分派活動を開始した者もいる。統率する者がいなく、今は分派が出来やすい状況になつてはいるのは確かです。」

もし、その中で再び麻原のようなカリスマを持った者が出たときどうなるのか。淹本氏によれば、今でも教団内部では「被害者は尊師に救済された」との言説が飛び交つているという。

あの恐怖と悲劇はまだなくなっていないのである。

練炭- 死ぬなら明日、また明日・・・とりあえず今日は

2004. 10.12 窓口日記から

10代-30前後までの若者自殺といえば、大島火口へのダイビング自殺の流行、青木ヶ原樹海での自殺の流行、女性タレントの後追い自殺、男性歌手の後追い自殺などが頭に浮かぶ。

ネットで、自殺願望を持つ人同氏が、互いのことを知らないままに落ち合え、その相乗効果をもつことになった問題もあるのだろう。

だが、ネットとか掲示板自体が問題だとはいえない。病理現象ではなく生理現象だけれど。自動車が普及したとき交通事故が避けられないのと同じ。

ですが、歩道や交差点の整備を初めとした安全施設を充実させることなどで事故も減ると同様、自殺を少しでも減らす試みは有効でもあるはず。

- 1 掲示板書込みに時にあるように、直接の経験者、関係者からの言葉
- 2 練炭・コンロについて当面、売るときは身分証明をしてもらい、コピーをすとか、販売店が対処する
- 3 景気の回復-これ、中高年層ではなく若い人関係でも、やはり相当に影響しているなあ

自殺しようとしている人に「頑張って」は、絶対禁句です。本人は本人として頑張ってきた。たとえ甘いものであっても精一杯。

「1人じゃない」「家族や友人が悲しむ」も少なくとも禁句、家族や少しの友人からも信頼、愛されている感覚をもてなかった人も多いのだから。

私が言えるのは、表題の一つだけ。

人の死亡率は100%なのだから、そうあわてないで、と。



『今日までそして明日から』

作詞・作曲 よしだたくろう

わたしは今日まで生きてみました
時にはだれかの力をかりて
時にはだれかにしがみついて
わたしは今日まで生きてみました
そして今 わたしは思っています
明日からも
こうして生きて行くだろうと

わたしは今日まで生きてみました
時にはだれかをあざ笑って
時にはだれかにおびやかされて
わたしは今日まで生きてみました
そして今 わたしは思っています
明日からも
こうして生きて行くだろう

わたしは今日まで生きてみました
時にはだれかにうらぎられて
時にはだれかと手を取りあって
わたしは今日まで生きてみました
そして今 わたしは思っています
明日からも
こうして生きて行くだろう

わたしにはわたしの生き方がある
それはおそらく自分というものを
知るところから始まるものでしょう
けれど それにしたって
どこで どう変わってしまうか
そうです わからないまま生きてゆく
明日からの そんなわたしです

わたし今日まで生きてみました
わたし今日まで生きてみました
わたし今日まで生きてみました
わたし今日まで生きてみました

そして今 わたしは思っています
明日からも
こうして生きて行くだろう

(この掲載も法律違反ですね、申し訳ない。
この時期、いい歌と改めて思った次第。
拓郎さんご容赦を)

http://bbs8.otd.co.jp/nihilists/bbs_plain

より

>デーヴィー聖準師の一言

> 投稿者: ヨッシー

>私は呆れてモノが言えませんでした。

>「代表の高橋シズエさんはお金を貰い

>過ぎとかで遺族被害者の会も中で揉

>めていますよ。現世は汚い世界ですよ。

>私はそういう現世にいたくないのです。」

10264 投稿者: 友北 2004/08/23

21:05

なるほど、思い出す。同じようなこと。

1994. 10末だったなあ、

青山弁護士や、林郁夫と交渉したの
が、

「滝本先生はお金のためにやってる
でしょう」とか

「監禁や薬を使って脱会させている
でしょう」

なんて、私に言ったなあ。

わたしや、

・こんな事件でお金になる訳ないじゃない、

・監禁も薬物なぞ使うはずがないでしょう

・これから先危ないから、本当にまずいつ、

と思ったら、出てきてっ、

と言ったのだが。

高橋シズエさんには、いつも頭が下
がっています。名前を出す、表に出る立
場となるというのは、大変に辛いことです。

それでも、誰かがやらなければなら
ないから、いろいろな被害者対策、立法の
運動をされているのだと思います。

自らの側が、金銭に汚く、薬物・監禁を
したりしていると、相手方もそんなものだ
と思ってしまうのでしょうか。

かなりや

西條八十

唄を忘れた金糸雀は、
後の山に棄てましょか

いえ、いえ、それはなりませぬ

唄を忘れた金糸雀は、
背戸の小藪に埋けましょか

いえ、いえ、それはなりませぬ

唄を忘れた金糸雀は、
柳の鞭でぶちましょか

いえ、いえ、それはかわいそう

唄を忘れた金糸雀は、
象牙の船に、銀の櫂

月夜の海に浮べれば

忘れた唄をおもいだす

『赤い鳥』(大正七年一月号)
岩波文庫『日本童謡集』より

◎ カナリヤは歌を思い
出す手助けをする。

◎ カナリヤは自分で自
分の歌(考え)を歌う。

◎ カナリヤは歌を歌え
なくなつた鳥を捨てる
のではなく、温かく見
守る。

(地球の揺りかごで)

発行 カナリヤの会

〒242-0021

神奈川県大和市中心 2-1-15 パークロード大和ビル 2 階

大和法律事務所 窓口滝本太郎 気付

電話 046-263-0130 ファックス 046-263-0375 takitaro@yha.att.ne.jp

横浜銀行大和支店 普通 1 3 4 3 0 7 8 カナリヤの会滝本太郎